

報道写真家 渋谷敦志を迎えて

—「移動」を撮る—

日時： 2018年 1月9日(火) 15:10～17:00

場所： 神戸大学 国際文化学研究科 E411 (学術交流ルーム2)

講師： 渋谷 敦志 (フォトジャーナリスト)

講演内容：

ブラジルやアフリカを中心に、移民・難民など、移動を余儀なくされる人々の姿を写し撮ってきた報道写真家の渋谷敦志。本講演では、最新作品集である「ボーダーランド」を中心に、移動を強いられる名も無き人々とのファインダーを通じた対話について、また一見過酷な現実を恣意的に切り取る写真家という立場の倫理と政治について率直に語っていただく。

講師略歴：



フォトジャーナリスト。1975年大阪府生まれ。1996年、大学を休学して一年間ブラジル・サンパウロの法律事務所で働く。卒業後、野宿者の現状を取材したルポで国境なき医師団主催1999年MSFフォトジャーナリスト賞を受賞。それをきっかけにアフリカへの取材を始める。現在は東京を拠点に、世界中の紛争、移民、難民や、災害、貧困の問題を写真で伝えている。日本写真家協会展金賞、コニカミノルタフォトプレミオ、視点賞・第30回視点特別賞など受賞。個展に「ボーダーランド」(キャノン・ギャラリー、2017年)など。